

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分		授業の方法		講義	
科 目 名	老年の健康障害への看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)		時間(単位)	
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	前期	教室名			
担 当 教 員	太田和江	実務経験とその関連資格	脳卒中内科病棟および 一般外科病棟 病棟看護師として6年間勤務 認知症対応型通所介護施設で看護師として1年勤務					
《授業科目における学習内容》 健康障害をもちながら生活している高齢者の看護について考えられるよう、その基礎知識と考え方を学習することを目的とする。高齢者の状況を捉えアセスメントし、看護へと向過ぎつける思考過程を主軸とした学習ができるよう授業を構成し、病棟での看護をイメージできることを目指す。健康障害をもつ高齢者の持てる力を重視したQOLの視点が看護を考えるときには必要不可欠であることを再認識してほしい。								
《成績評価の方法と基準》 終講試験 80% 授業参加度20%								
《使用教材(教科書)及び参考図書》 ①医学書院 系統看護学講座 老年看護学 ②医学書院 生活機能からみた老年看護過程 +病態・生活機能関連図								
《授業外における学習方法》 各講義で取り上げる疾患についての基礎知識の復習を行い、課題意識をもって参加すること								
《履修に当たっての留意点》 成人と違い加齢変化を考えた看護の展開を学習していきますので加齢変化を考えられるよう復習をしておいてください								
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容			
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者に起こりやすい症状のアセスメントと看護を理解する	①P226～233 P238～248 ②P338～359	老年症候群 加齢変化			
		各コマにおける授業予定	発熱 伊丹 脱水 嘔吐 浮腫 倦怠感					
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の皮膚トラブルへの看護を理解する	①P234～237 P248～253 ②P233～269	皮膚の構造			
		各コマにおける授業予定	老人性皮膚掻痒症 褥瘡 ・スキン-テア					
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の脳卒中の看護を理解する	①P254～257 ②P104～126	脳卒中			
		各コマにおける授業予定	半側麻痺 失認 失語 見当識障害 リハビリテーション					
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	心不全のある高齢者の看護を理解する	①P257～260 ②P184～199	心臓の機能 右心不全 左心不全			
		各コマにおける授業予定	隠れ心不全 慢性うっ血性心不全 心不全の病態に応じた活動の援助					
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	糖尿病を持つ高齢者の看護を理解する	①P261～263 ②P201～218	食事療法 運動療法 薬物療法			
		各コマにおける授業予定	糖尿病の高齢者の日常生活支援と合併症 糖尿病と認知症の関連					

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸障害をもつ高齢者の看護を理解する	①P263～264 P271～274 ②P156～183	酸素吸入 呼吸困難時の看護
		各コマにおける授業予定	COPDの患者の看護 酸素療法の支援 肺炎		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折により手術療法を受ける高齢者の看護を理解する	①P275～281 ②P127～142	手術療法を受ける患者の看護
		各コマにおける授業予定	大腿骨近位部骨折の看護 骨粗鬆症の看護		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	前立腺肥大症及び白内障で治療を受ける高齢者の看護を理解する	①P327～333 ②P219～232 P280～290	
		各コマにおける授業予定	前立腺肥大症の看護 白内障で手術を受ける患者の看護		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症のある高齢者を正しく理解する	①P296～317 ②P56～74	認知症の主要4疾患
		各コマにおける授業予定	認知症の症状 診断 治療 アセスメント		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	認知症のある高齢者の看護を理解する	①P296～317 ②P56～74	ゴードンの機能的健康パターンを理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	認知症の高齢者の機能的健康パターンのアセスメントと看護の方向性		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン病をもつ高齢者の看護を理解する	①P267～269 ②P75～90	レポドパ オンオフ
		各コマにおける授業予定	パーキンソン病の高齢者の機能的健康パターンと看護の方向性		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	治療検査を受ける高齢者の看護を理解する	①P318～338	リハビリテーション ポリファーマシー
		各コマにおける授業予定	治療に伴う高齢者の看護 リハビリテーションの支援 薬物療法		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	入院加療を受ける高齢者の看護を理解する	①P288～295 334～347 ②P457～468	せん妄 環境の変化とその影響 退院調整
		各コマにおける授業予定	入院生活の適応 せん妄の看護 退院調整		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	我が国の超高齢社会における終末期医療の課題を理解し、自己の考えを述べることができる	①P348～357	ACPとEOLについて理解を深めておくこと
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階における医療決定プロセスに関するガイドライン 老衰死とみなし末期 延命治療と自己決定		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の終末期医療の実際からエンドオブライフケアを考えることができる	①P348～357	
		各コマにおける授業予定	医療とQOL 自己決定の支援 終末期医療における看護の役割		